

News Release



RISURU

©2003, 2020 SANRIO CO., LTD. APPROVAL NO. L610088



2022年1月25日

たましん中小企業景況調査報告 Vol.187

多摩地域の景気は回復しているが、一部業種で依然厳しい

多摩信用金庫（本店:東京都立川市 理事長:八木敏郎）は、取引先中小企業の景気動向について、四半期ごとに調査を実施しております。今般、2021年11月に実施した調査結果を『多摩けいざい』第99号にて公表しました。

なお、『多摩けいざい』は当金庫各営業店の店頭で配布しているほか、たましん地域経済研究所ホームページ (<https://www.web-tamashin.jp/rrire/>) からご覧いただけます。

調査について

1. 調査実施日 2021年11月8日～12月1日
2. 調査方法 調査員による聞き取り調査
3. 調査対象 多摩信用金庫のお取引先1,114先
4. 回答先数 1,109先
5. 回答先内訳 下表のとおり

従業者規模	全業種		製造業		卸売業		小売業		サービス業		建設業		不動産業	
	回答先数	比率	回答先数	比率	回答先数	比率	回答先数	比率	回答先数	比率	回答先数	比率	回答先数	比率
1～4人	342	31%	49	15%	24	26%	105	57%	75	30%	45	25%	44	52%
5～9人	253	23%	66	21%	29	32%	36	20%	41	16%	57	31%	24	29%
10～19人	175	16%	77	24%	17	18%	11	6%	24	10%	38	21%	8	10%
20～29人	99	9%	42	13%	7	8%	6	3%	20	8%	20	11%	4	5%
30～39人	45	4%	17	5%	1	1%	7	4%	14	6%	5	3%	1	1%
40～49人	37	3%	14	4%	1	1%	3	2%	11	4%	7	4%	1	1%
50～99人	98	9%	36	11%	7	8%	15	8%	32	13%	7	4%	1	1%
100～	60	5%	18	6%	6	7%	0	0%	32	13%	3	2%	1	1%
合計	1,109	100%	319	100%	92	100%	183	100%	249	100%	182	100%	84	100%

調査結果の概略

<業況概況>

- 今期の全業種業況 DI は、前期より 4 ポイント上昇のマイナス 12 となった。多摩地域の経済活動は少しずつ正常化しつつあるものの、新型コロナ変異株による感染拡大の影響が広がっており、楽観できない。また、原材料価格の上昇が経営に与える影響についても注意が必要である。
- 業種別に見ると、全ての業種において業況 DI は水面下にあるものの、不動産業を除く他の 5 業種で改善した。なお、飲食業の業況 DI は今期改善が見られたが、マイナス 48 と依然厳しい状況にある（飲食業は下表に記載していない）。

		2021.6	2021.9	2021.12	変化幅	2022.3 (見直し)	変化幅
全業種	計	-16	-16	-12	+4	-10	+2
	中規模	-6	-7	-2	+5	-2	0
	小規模	-24	-24	-21	+3	-17	+4
製造業	計	-24	-16	-9	+7	-4	+5
	中規模	-13	-3	7	+10	11	+4
	小規模	-30	-24	-20	+4	-14	+6
卸売業	計	-17	-11	-10	+1	-3	+7
	中規模	-9	-5	-7	-2	-2	+5
	小規模	-34	-24	-18	+6	-5	+13
小売業	計	-32	-35	-30	+5	-28	+2
	中規模	-23	-28	-18	+10	-20	-2
	小規模	-38	-41	-38	+3	-34	+4
サービス業	計	-11	-16	-12	+4	-10	+2
	中規模	-3	-7	-3	+4	-2	+1
	小規模	-31	-38	-32	+6	-28	+4
建設業	計	1	-8	-5	+3	-2	+3
	中規模	20	5	1	-4	10	+9
	小規模	-4	-11	-7	+4	-6	+1
不動産業	計	5	2	-5	-7	-12	-7
	中規模	18	2	5	+3	-11	-16
	小規模	-6	2	-13	-15	-13	0
日銀短観(中小企業)		-8	-8	-3	+5	-4	-1

※ 中規模企業：本調査では、製造業・建設業においては従業員 20 人以上の企業、卸売業・小売業・サービス業・不動産業においては 5 人以上の企業と定義しています。

<業況 DI の推移>

